

2021 年度  
創発的研究支援事業 年次報告書

研究担当者	海塩 渉
研究機関名	東京工業大学
所属部署名	環境・社会理工学院
役職名	助教
研究課題名	寒冷負債の解明とモデル化による高血圧予見医学への挑戦
研究実施期間	2022 年 1 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

**研究成果の概要**

2021 年度は 3 か月の研究期間の中で、人の計測を行う研究の準備として必要な生命倫理審査の許可を東京工業大学の人を対象とする倫理審査委員会から得るとともに、寒冷負債の解明の鍵となる動脈硬化度の計測機器の購入・試用を行った。併せて調査対象者の募集資料の作成、測定が正しく行われるための機器の取扱説明書や手順書の整備、アンケート調査票の作成、といった研究遂行のための下準備を行った。

また他大学やハウスメーカー・工務店等の一般企業への研究内容の説明を行い、寒冷負債解明のためのコホート研究に参加していただく調査対象者のリクルートを開始した。更に、遠隔医療の普及啓発を推進するグループの調査に参加し、高血圧予見に向けた日常生活下でのヒト・環境の連続モニタリングのデータを 30 名から取得した。最終的な高血圧予見の社会実装にあたって、今回取得したウェアラブル・環境・血圧データが重要となるため、当該データの整理を開始した。